



## 羽田空港に消毒作業ロボットを導入 ～ 安心・安全・清潔・快適なターミナルを維持します～



日本空港ビルデング株式会社は、2015年7月にCYBERDYNE株式会社との間で、羽田空港旅客ターミナルビルへの次世代型ロボット導入等における業務提携を締結し、これまでさまざまなロボットの共同開発および導入を行ってきましたが、今般、新たにターミナルの壁面及び床面への消毒液の噴霧を行う「消毒作業ロボット」を導入します。

当該ロボットは、2019年11月に既に導入済みであるサイバーダイン社製の自立移動型の清掃ロボット（MB-CL02）に対し、目的に応じた付属装置を取り付けることで清掃以外の様々な用途にも応用する機能拡張を行う取組みの第一弾として、消毒液噴霧機を取り付けた機体であり、Haneda Robotics Lab\*を通じて実証実験を実施し、性能の確認および安全性等の検証を経て、ターミナル内において事前に設定したエリアを正確かつ自律的に稼働しつつ、壁面及び床面等の消毒作業を行うことが可能であることから導入に至りました。

当社は、これからもロボット等の最先端技術も活用しながら、羽田空港の安心・安全を維持しつつ、清潔で快適な羽田空港ターミナルを持続的に提供してまいります。

HANEDA  
ROBOTICS  
LAB



※ Haneda Robotics Lab：ロボット開発者へ空港内での実験の機会を提供し、問題点の洗い出しと運用上の知見を共有するプロジェクト。政府の「改革2020」プロジェクトの取組みの一つとして、国土交通省および経済産業省との連携のもと運営。

本件に関するお問い合わせ：

日本空港ビルデング株式会社 広報・ブランド戦略室 TEL:03-5757-8030 9:00-17:30(土日祝除く)

■ロボット概要：

- (1) 製造：サイバーダイナ株式会社（日本製）
- (2) 名称：消毒作業ロボット
- (3) 仕様：外形寸法縦 620mm × 横 480mm × 高さ 470mm 重量 63kg  
稼働時間約 2 時間、稼働面積最大 3,000 m<sup>2</sup>
- (4) 機能：A I により施設内を自在に走行しながら消毒液を噴霧するもの



■活用場所：(予定)

- (1) 閉館後のターミナル内床面、壁面の消毒補助作業。  
※3月31日より、第1ターミナル到着階中央エリアにて稼働。
- (2) 緊急時対応（集団感染者発生時の危険を伴う特別消毒作業等）

以上